

# 借入金の勘定科目と返済仕訳 早見表

# 1. 借入金の種類の把握

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	金融機関からの資金調達・与信取引が「証書貸付／手形貸付／手形割引／当座借越」のいずれかを確認した - 基準・補足：本文の4種類に該当すること。
<input type="checkbox"/>	「証書貸付」の場合、金銭消費貸借契約証書を差し入れている取引であることを確認した - 基準・補足：本文定義に一致すること。
<input type="checkbox"/>	「手形貸付」の場合、約束手形を銀行に振り出して融資を受ける取引であることを確認した - 基準・補足：本文定義に一致すること（短期間融資に用いられる旨の記載あり）。
<input type="checkbox"/>	「手形割引」の場合、他社振出の手形を金融機関に買い取り（割引）してもらう取引であることを確認した - 基準・補足：額面から期日までの割引料が差し引かれる旨が本文にある。
<input type="checkbox"/>	「当座借越」の場合、融資限度額の範囲で自由に借入・返済できる取引であることを確認した - 基準・補足：本文定義に一致すること。

## 2. 短期借入金・長期借入金の区分

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	借入金を決算日から「1年以内返済分＝短期借入金」「1年超返済分＝長期借入金」で区分する必要があるか確認した - 基準・補足：本文に「厳密には1年以内返済部分と1年超返済部分に分けて処理」とある。
<input type="checkbox"/>	借入金額のうち、1年以内返済予定額（短期借入金）と1年超返済分（長期借入金）の金額を確定した - 基準・補足：例では6,000万円のうち1,200万円が短期、4,800万円が長期。
<input type="checkbox"/>	会社として「短期・長期を区分して処理する／まとめて処理する」運用か確認した - 基準・補足：本文に「会社によっては区分せずにまとめて簡単に処理」とある（ただし本文は区分処理の例が中心）。

### 3. 借入実行（入金時）の仕訳

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	借入金が普通預金に入金された事実（入金額）を確認した - 基準・補足：本文例は「普通預金に6,000万円入金」。
<input type="checkbox"/>	入金時の貸方を「短期借入金」「長期借入金」に正しく分けて計上した（区分処理の場合） - 基準・補足：本文例は「短期借入金 1,200万円／長期借入金 4,800万円」。
<input type="checkbox"/>	入金時の借方を「普通預金」で計上した - 基準・補足：本文例のとおり。

## 4. 利息支払時の仕訳

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	利息のみを支払う取引であること（元本返済がないこと）を確認した（該当する場合） - 基準・補足：本文例は「借り入れ後3か月は利息のみ」。
<input type="checkbox"/>	利息支払の借方を「支払利息」で計上した - 基準・補足：本文に「支払った利息は支払利息で処理」とある。
<input type="checkbox"/>	利息支払の貸方を「普通預金」で計上した（普通預金から支払った場合） - 基準・補足：本文例は「普通預金から支払った」。

## 5. 元利返済時（返済）の仕訳

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	返済額の内訳（元本と利息）を確認した - 基準・補足：本文例は「元本100万円+利息1万円=合計101万円」。
<input type="checkbox"/>	元本返済分の借方を「短期借入金」または「長期借入金」（該当区分）で計上した - 基準・補足：本文例は短期借入金で処理。
<input type="checkbox"/>	利息分の借方を「支払利息」で計上した - 基準・補足：本文例のとおり。
<input type="checkbox"/>	返済の貸方を「普通預金」（普通預金から支払った場合）で、元利合計額で計上した - 基準・補足：本文例は「普通預金 101万円」。

## 6. 決算時の振替（長期→短期）

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	決算時点で「決算日から1年以内に返済予定の借入金」があるか確認した（区分処理の場合） - 基準・補足：本文に「来年度中に返済予定分を長期借入金から短期借入金に振替」とある。
<input type="checkbox"/>	来年度返済予定額を「長期借入金→1年内返済予定長期借入金」に振替仕訳した - 基準・補足：本文例は「長期借入金 1,200万円／短期借入金 1,200万円」。

## チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	借入金は種類（証書貸付等）と、返済までの期間（短期／長期）で処理が分かれるため、最初に区分を確定させる必要がある。
<input type="checkbox"/>	元利返済の仕訳では、元本と利息を分けて計上しないと勘定科目（借入金／支払利息）が混在する。
<input type="checkbox"/>	区分処理をしている場合、決算時の「決算日から1年以内返済予定分の振替」を落とすと、短期・長期の表示が本文の整理に合わなくなる。
<input type="checkbox"/>	利息のみ支払期間がある場合、元本が減っていないことを前提に仕訳を確認する必要がある。

## 借入金の勘定科目 早見表（区分ルール）

区分	判定基準（返済期限）	勘定科目	貸借対照表の表示区分
短期	返済期限が決算日から1年以内	1年内返済予定長期借入金	流動負債
長期	返済期限が決算日から1年超	長期借入金	固定負債

## 資金調達・与信取引の種類 早見表（定義と実務上の特徴）

種類	何を差し入れる／何で借りるか	実務上の特徴（要点）
証書貸付	金銭消費貸借契約を結び、 <b>金銭消費貸借契約証書</b> を差し入れて借入	一般に「借入金」と言う場合に指すことが多い
手形貸付	<b>約束手形</b> を銀行に振り出して融資を受ける	原則、 <b>短期間</b> の融資で用いられる
手形割引	<b>他社が振り出した手形</b> を期日前に金融機関に買い取ってもらう	<b>割引料</b> が差し引かれ、受取額は額面より少ない
当座借越	あらかじめ設定した <b>融資限度額</b> の範囲で借入・返済	必要に応じて借入・返済できる（審査は厳しめになりやすい）

## 仕訳のルール

状況	仕訳の型
借入で口座に入金された	借：普通預金／貸：短期借入金・長期借入金（期限で分ける）
利息だけ支払った	借：支払利息／貸：普通預金
元本と利息を返済した	借：借入金（元本）＋支払利息（利息）／貸：普通預金（合計）
決算で来期1年以内の返済分がある	借：長期借入金／貸：1年内返済予定長期借入金（振替額）

※2026年2月時点の情報をもとに作成しています